



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和4年 7月号

神奈川県立相模原中央支援学校

6月27日(月)梅雨明けしました。今年は雨の印象のない、とても早い梅雨明けです。これからは、電力ひっ迫や水不足の心配もありますが、感染症対策と熱中症対策をとりながらの学校生活となります。

5/18~2泊3日で高等部知的3年の修学旅行で静岡県に出かけてきました。生徒達は環境学習やカヌー体験など充実した修学旅行を楽しんでいました。実は、3年前の中学部の修学旅行でも一緒に出掛けた生徒達の成長した姿を再発見できた素晴らしい修学旅行でした。この学年はコロナ禍によって宿泊学習なども体験できなかった学年ですが、チームワークよく、お互いを思いやる気持ちのあふれる学年集団に成長したのだと感動しました。



今年度は、「医療的ケア児通学支援」の試行が始まりました。保護者の付き添いによる負担軽減に向けた取り組みです。登校時のみの試行ですが、学校で安定して医療的ケアが実施できている(登校が安定している)方が対象です。スクールバス乗車の場合は、バスルート上で、看護師1人が同乗し乗車中の医療的ケア実施の可能性が低い、緊急時に看護師対応が可能な場合です。スクールバスでの対応が難しいと判断された場合は、福祉車両と訪問看護師等との家庭契約による通学支援(奨励費対象)となります。まだまだ課題はありますが、少しずつ進んでいくことを期待しています。

校長 鈴木 善之(すずき よしゆき)

6月中の梅雨明け。今年は暑い夏の時期が長期間続くと報じられています。学校は、引き続き感染症対策にあわせ、熱中症対策にも配慮しながら教育活動を継続しているところです。

今回は、本校の水泳指導について紹介いたします。密を避けながら行っているため、1回に入る人数は少なく、回数も限られていますが、子どもたちが楽しみにしている活動をできるだけ続けていきたいと工夫しています。



その取り組みの1つとして昨年度から使用している「マスク」があります。子どもたちはプールでマスクをすることはありませんが、子どもたちや職員のお互いの健康を守るために、職員は透明なビニールシートの手作りマスクをつけて感染症対策をしています。

9月も安全に実施できるように、継続していききたいと思います。

各学部の校外行事に伴い、看護師の引率が必要な場合があります。校外での活動が安全で充実したものになるように体制を組んでおりますが、一方で、校内の状況によっては、保護者の方々に、校内の医療ケアの応援をお願いすることがあります。1学期もご協力いただきありがとうございました。2学期も、行事が計画されています。どうぞ御理解、御協力をお願いいたします。

教頭 石丸 葉子(いしまる ようこ)

